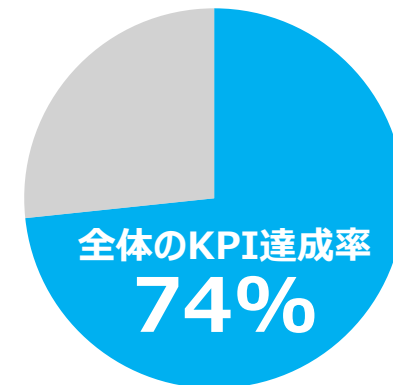


行財政改革大綱R2～R5振り返りについて

1 成果

- 進捗状況は概ね良好
- デジタル技術を取り入れ、業務効率の向上と職員の働く環境整備、財政運営の改善を図ることができたと評価



※KPI達成率はR5末時点

目標Ⅰ

デジタルトランスフォーメーション等 による新しい行政の確立 **67%**



行政手続電子化率

2019年度 7% ▶ 2023年度 **93.5%**

目標Ⅱ

職員の能力を最大化できる働き方改革 **76%**



A I 等導入業務における作業時間減少

2020年度 8,400時間 ▶ 2023年度 **15,934**時間

目標Ⅲ

災害などにも対応できる持続可能な財政基盤の構築 **76%**



臨時財政対策債を除いた基礎的財政収支の黒字化

2019年度 ▲115億円 ▶ 2023年度 **+102**億円

2 課題

(1) KPI

- 業務効率化・働き方改革に取り組み、環境・制度は整ったものの、「職員の能力の最大化」という面では、引き続き取組が必要
- 目標値100%など非常に高い目標設定のため、未達成見込みの項目がある

(2) その他

- 県民幸福度アンケート調査では、行政手続きのデジタル化や行政と民間が連携・協力する体制整備に関する県民の施策実感が半数以下
- 「業務量に応じた人員配置がなされていない」、「自身の将来イメージが描けない」、「異動における適性・育成の考慮がなされていない」と感じている職員が一定数存在

分野	施策実感に関する設問	2020年度	2021年度	2022年度
行財政改革	行政手続きがデジタル化され利便性が高まっている	42.3	44.3	44.6
	群馬県では、新たな価値やビジネスを創出するために、行政と民間が連携・協力する体制が整っている	40.8	42.1	40.0

出所：県民幸福度アンケート調査（戦略企画課）